

甲府市の地形と土地利用

(相川、里垣、千代田地区の場合)

鈴岡 妙子

私の選んだフィールドは、甲府市の北部を占めている部分で、24地区に分かれているうちの3地区である。昔の相川村、里垣村、千代田村が、それぞれ昭和ノ2年、同じく昭和ノ2年、昭和29年に甲府市に編入されたものである。一口に甲府市と言つても、このような市町村合併で、その性格は地区によつてかなり異つたものである。その中でこの三地区は甲府市北部山地に接しているか、山地内部に位置し、相川、里垣地区は甲府盆地床に続いていて、背後に山地を持つ地形なのであるが、千代田地区は海拔600m前後で、盆地床との比高が約300mの山間盆地である。相川、里垣地区は甲府市街地に接しているが、千代田地区は甲府駅からバスで約1時間のところにある。

三地区は互いに隣接しており、同じ甲府市内でも南部の荒川、笛吹川流域の水田地帯とは異つて樹木農業が卓越している。相川、千代田地区が桑、里垣地区がぶどうを唯一の換金作物として栽培している。自然的、文化的条件が似ている相川と里垣が異り、似ていない相川と千代田が同じ作物であるのはなぜであるかを本論のテーマにしたと思つた。

千代田と里垣の相違は自然条件によるものと思われるが、相川と里垣を異つた方向に持つていつたものも、やはり自然条件の相違によるのではないかと思つて進めていたのだが、わずか173km²の甲府市内の中の更に小さい地区の事であり、互いに隣接しているのであるから、自然条件のわずかな差はあるだろうが、ほとんど同一条件といつてもよい結果が出た。

又異るとは言つても、桑とぶどうの違いであり、同じ樹木農業なのであるから問題としてとりあげるほどの事は無いと思われる。が農業収入が桑とぶどうを較べるとずつとぶどうの方が有利であり、山梨県全体の農業の傾向も、ぶどうは増反しているが、桑は足踏み状態なのであるから、相川地区がまだ昔ながらの穀桑農業に依存しているのを疑向に思つたわけである。

結局、山梨県農業は昔から穀桑農業が主であつたが、一方、甲府盆地の自然条件によく適した果実栽培も盛んであり、里垣ではぶどう栽培の伝統が江戸時代からあつた。それが戦後の食生活の変化による需要増大で、ますます拡張された。がぶどう栽培の伝統の乏かつた相川は、甲府市街地が進出してきて、ぶどうが有利になつた時世においても、新しい技術を習得せねばならないぶどう栽培より、勝手のわかつた桑を栽培する兼業化への進む方が有利

という事になつたのではないだろうか。千代田においては、まだ穀桑農業に依存している事は、自然条件が悪い他に、位置的に甲府盆地から隔離しているという事が、色々の意味で、その農業形態を停滞させているように思われる。

現在のように地域相互間の関連範囲が広まり、密接になつており、科学技術と進歩している時代は、昔より更に多くの人間活動の種類があると言える。そこで、地域の中で勤めく一箇の人間というものが、一体何を考え、何を目ざしているのか考える必要があると思つた。農業経済を見る上では、自然条件や経済条件が大きな要素を持つと思つたが、その他に人間の心理と考える必要があると思つた。が農村に住んだ経験がないと実感が伴わないし、一箇の人間としてではなく、集団として人間をみると実に複雑になつて、わからなくなつた。そこで主観的に考えてみるのはやめて、客観的につきはなして、地域の現象を見ようと思つたのだが、やはりそこは人間の意志というものを考慮に入れたいとうまく説明できない気がした。この論文では何故そうなつたかという事に關心を向けすぎ、因果関係の追求のようなものになつてしまつた。地域のありのままの現実をはつきりつかみ得なかつたと思つている。

秋留台地の地理学的考察

中松三和子

秋留台地は東京の西郊 40km に位置し、東西 6km、南北 5km ほど紡錘形をなしている。北と南は関東山地東縁の丘陵群に属する草花、加住丘陵が、西は背後の関東山地へと高度を増す才三系よりなる丘陵が続き、東は多摩川を挟んで武蔵野台地に面している。台地の北南、東縁を平井川、秋川、多摩川それぞれ台地面以下に数段の段丘を形成して流れている。これらの段丘はロームを欠くポストローム段丘であり、総じて 70cm 以下で礫層となつているが台地寄りでは上段からのロームの再堆積をうけて 100cm 近い腐植層を見る。

台地面はほとんど雨折をうけておらず、原地形を良く保ち、西端の 180m から東端の 140m まで均一の緩傾斜をなし、極く僅か北に傾いている。この台地面は一次ロームの存在によつて以下の面とは明瞭に区分されるが、その分佈は地形的に同一と思われる面に於て一線ではなく、平井川寄りの一帯では 20~30cm の薄い耕土の下に粘性の強いチヨコレート色の土層となりロームは認められない。以下ロームの偏在を説明すると-----。